全てはお客様のために―全棟オーダーメイドでお客様の理想をかたちに。

Feel-J+
Free idea style house Plus

Gramping Roof

空とつながる自由空間。
NEW

日々の生活に、アウトドアな楽しみをプラスワン。

自由な発想で自分だけの理想の間取りを実現するFeel-Jシリーズに、新しい楽しさの提案
「グランピングルーフ」を備えた「Feel-J＋」が新登場。
スカイハッチを開けると広がるグランピングルーフで、気軽にアウトドアライフが楽しめます。

例えば3LDK＋ロフト　延床112.50㎡の場合

参考プラン 34.0坪　本体完成価格　税抜 1,706万円

例えば2LDK＋ロフト　延床91.70㎡の場合

参考プラン 27.7坪　本体完成価格　税抜 1,438万円

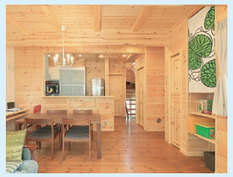
Feel-J
Free idea style house　Renewal

みんなにジャストな木のすまい。Feel-Jが リニューアル！

メンテナンス性やコストパフォーマンスに優れ、次世代省エネ基準適合の「Feel-J」がリニューアル！
ベランダやウッドデッキを標準採用、㎡単価で明確な価格設定になり、よりお求めやすくなりました。
別荘でもなく、セカンドハウスでもなく。普通の日常を、特別に暮らす家としての、ログハウス。
そんなスタイルを、Feel-Jシリーズが叶えます。

例えば2LDK＋ロフト　延床90.00㎡の場合

参考プラン 27.2坪　本体完成価格　税抜 1,391万円



※Feel-JおよびFeel-J+の本体完成価格には、建物本体の工事費や標準基礎・内部給排水・標準電気配線工事費・設備機器、および弊社設定のオプション工事が含まれております。作図費用・申請費用などの付帯費用は含まれておりません。外部給排水工事費用等、建築地条件に伴う付帯費用は含まれておりません。現地調査後に別途お見積り致します。詳細についてはお問合せ下さい。
※外壁のカラーリングは、指定色よりお好みの色をご選択いただけます。

Feel-J+新発売記念　モニターキャンペーン（2017年1月～）

新商品 Feel-J+ の販売に伴い、限定 5 棟の家具付きモニター住戸の販売を行います。
限定プランになりますが大変お得な特別プライスです！ まずはお問い合わせください。

5棟限定

照明・エアコン・カーテンと 80万円相当の家具を付属
さらに図面作成費、申請費用込みの完成価格で

キャンペーン特別価格 **1,662 万円（税抜）**

■建築面積 44.72 ㎡（5.46m×8.19m の固定プランとなります。）
■延床面積 84.46 ㎡（25.5 坪・1F 44.72 ㎡／2F 39.74 ㎡）
■間取り 3LDK（間取りアレンジ可）
■家具、照明、エアコン、カーテン付き
（弊社指定の商品の中からお選びいただけます。）
■外部給排水工事費用等、建築地条件に伴う付帯費用は
含まれておりません。現地調査後に別途お見積り致します。
■竣工後に、物件の写真撮影を行わせて頂くことが前提となります。
※数に限りがございます。限定数に達した場合はご容赦ください。
※土地の広さ、形状、条件によって建築できない場合もございます。また、土地からのご提案も承ります。

※パースはイメージです。実物とは異なる場合がございますので予めご了承ください。

まずは一度、展示場で ログハウスを体感してください。

お近くの全国フィール加盟店にてご覧いただけます。
詳しくはお電話またはWEBよりお問い合わせください。

ログハウスのことなら、お任せください。

0120-15-6983（いこーろーグやさん）

資料請求・メールでのお問い合わせはこちらから。

www.kinoie.co.jp

vol. 29　2016 winter

a periodical Tuuli
ログハウスファンとフィールブランドでつくるコミュニケーション情報誌

Owners Life
幸せの青い家
家族が集うカントリーテイストの
マシンカットログハウス

from Finland
北欧フィンランドの クリスマス

Column
省エネ住宅で 快適なくらし

幸せの青い家

家族が集うカントリーテイストの
マシンカットログハウス

M様ご夫妻
（千葉県船橋市）

今回のオーナーズライフは、千葉県船橋市にお住まいのM様ご夫妻をご紹介します。
2年程前に当社ログハウスを新築されたお二人ですが、現在はご主人と奥様、娘さんの3人でお住まいです。
ご主人はサーフィンが趣味ということで、毎週末海に出かけては、サーフィンを楽しむことをもう30年以上も続けられています。
以前はエレベーターのない公団マンションの5階に住んでいたというご夫妻は、奥様が足を怪我したことがきっかけで、新しい住まいを考えるようになったそうです。
「まずは建売住宅やハウスメーカーのモデルハウスを見て回りましたが、全然ピンとこなかった。
そこでインターネットでログハウスの事を知って、資料請求をしてみたんです。」
3社ほどのログハウスメーカーに資料請求をし、たまたま近くに完成したという某社展示場へも足を運び、実際にログハウスをご見学。
「木をふんだんに使った内装や、インテリアの展示もこれまで見たハウスメーカーとは全然違う。
こういう感じならいいね。」
とそれまでまったく家に関心のなかったご主人も納得し、ログハウスを建てる方向で話が進んでいったといいます。
そんな中で当社展示場にもお越しいただき、お話しさせて頂く中で、ご建築を決めて頂きました。
「最初に見学した会社さんで話を進めようとしたんですが、自由度が少なくて。
フィールさんは注文住宅というところ、自由度の高さが決め手になりました。」

------お打合せの中で苦労したことはありましたか？

「そうですね、実際に進めてみると自由な分、決めることも多くて大変なところもありますね。とくに間取りを決めるのに平面図上での話になるので、どうしても３Ｄへ想像を働かせるのが難しかった。」

「建ててみたらやっぱりあの高さに窓が欲しかった、とか収納の高さが想像と違った、という部分はありました。あとはコンセントをもっとつければよかったかな。」

自由設計ならではの苦労ですね、その分こだわりのある１棟になりました。

「１階の玄関・薪ストーブ・LDKをフラットにして、ゆるやかに続く大きなワンルームという感じにできたのはよかったです。あえて小さく区切らず、いずれ夫婦二人で１階だけで生活できるようにと考えています。」

「以前住んでいたところに比べると駅から遠い分不便はあるけれど、家の中にはとっても満足しています。マンションでは犬を散歩に連れて行くときに敷地外までキャリーで連れて行かなければいけなかったのですが、今は玄関出たらすぐに走り回れるので喜んでいると思います。」

ログハウスと相性ぴったりのアメリカンカントリー調でセンス良くまとめているＭ様邸。

外構はご主人のサーフィン仲間に手伝ってもらい、作ったそうです。

今後はお庭で家庭菜園をしたいと話す奥様と、大きなフェニックスヤシの木を植えたいというご主人で、ちょっぴり意見が分かれているご様子ですが、楽しそうな雰囲気を感じました。

「田舎暮らしもしてみたいので、田舎にもう一軒、家庭菜園付の小さいログハウスを建てるのもいいよね」とこれからも大きな夢をお持ちのＭ様夫妻。

どんなログライフになっていくのか、我々も楽しみです。

From Finland

北欧フィンランドのクリスマス

～伝統的な過ごし方とサンタクロース村～

年明けまであと少し。その前に 12月の大きなイベントであるクリスマスは日本人にとっても大きなイベントの一つですね。

今回はクリスマスの本場、フィンランドの伝統的なクリスマスとその過ごし方についてお話しさせて頂きます。

【フィンランドの伝統的なクリスマスと過ごし方】

フィンランド式のクリスマス祝典は古くよりクリスマスイヴの正午からスタートするのが一般的です。トゥルクという都市ではクリスマスの平和宣言から始まり、約 700 年前から絶えることのない伝統となっています。

他国と違った点で特徴的と言えば、サウナに入り体を清め、食事を摂るのがフィンランド流です。

食事は特別なものが用意され、親族が集まって行われます。

クリスマス料理と言えば、伝統的なハムと、白カブあるいはポテトのグラタンなどが古くから伝わる料理となりますが、近年では七面鳥も並ぶようになりました。デザートには星型のパイ（フィンランド語でヨウルトルットゥ -joulutorttu-）とジンジャークッキー（ヨウルピパリ -joulupipari-）が登場します。ここまで出てきたフィンランド語を見てみると「joulu」という単語が多く登場するのに気が付きましたか？勘の良い方ならお気づきかと思いますが「クリスマス」ということになります。

また、重要な要素としてクリスマスツリーの存在があります。ツリーは主に購入したり、森から採って来たりして家の中に運ばれます。ツリーはイヴの朝から様々なオーナメントや電飾で飾られます。そしてクリスマスプレゼントを贈ることも欠かせない伝統です。

もちろん街全体もクリスマスで満たされ、クリスマスマーケットでは手工芸品やお菓子が売られ、演劇やサーカス、音楽が街に響き渡ります。

そして一連のクリスマスの祝典におけるもっとも重要なひとときは、クリスマスイヴに墓地を訪れ、先祖や親族、かつての英雄たちへキャンドルを燈すことです。本来のクリスマスは伝統に従い、家族と静かに心を落ち着かせて過ごす時間なのです。

【サンタクロース村と仕事】

サンタクロース（ヨウルプッキ -joulupukki-）の出身については諸説ありますが、前世紀のはじめに、それまで北極圏に住んでいるとされてきたサンタクロースの家がフィンランド ラップランド地方にあるコルバトゥントゥリという山にあるという秘密が明らかにされました。

その情報が世界中に広がる中、クリスマスの秘密を守る為にサンタクロースのお手伝いをする妖精（トンットゥ -tonttuväki-）が世界中の人がサンタに会いに来れる場所を北極圏に作りました。それが「サンタクロース村」です。

また北極圏は「通常の時間」と「妖精トンットゥとトナカイ達の魔法の時間」の境界であり、時間の流れが変わるとも言われています。

サンタクロースはクリスマスの精神である愛と善意のメッセージを広めることを使命として、村の仕事場で１年中過ごしています。

そして彼の元には世界中からたくさんの手紙が届きます。

もちろんこれを読んでいる貴方もサンタクロースに手紙を送ることが出来ますよ。

＜サンタクロースの住所＞
Joulupukki,Joulupukin pääposti,96930 Napapiiri,FINLAND

物語のようにプレゼントを届けてくれるかはわかりませんが、お返事は来るかもしれませんね。

From Merja Pesu（フィンランドのログハウスメーカー、Huvila Seppälä 社輸出マネージャー）・翻訳 / 阿部穂乃香（フェニックスホーム スタッフ）

column

省エネ住宅で快適なくらし

1970年代に起きた石油危機から今も続く、永遠のテーマ「省エネ」。
住宅業界ももちろん例外ではありません。
今回は住宅における最新の省エネ事情についてお話しさせて頂きます。

省エネ=我慢?

近年は省エネのために「クールビズ」や「エアコン温度を弱めに」など様々な取り組みが行われていますが、気候の変化や気温の上昇により「省エネは我慢」と感じている方もいらっしゃるのではないでしょうか。
今日の技術の進歩は目まぐるしく、生活水準は高くなってきていますし、いくら省エネとはいえ、一定の快適性は保たれるべきだと感じます。
たとえば室内温度は最低でも16℃(水回りは10℃)くらいが好ましいと言われていますが、断熱性が低いと室温にムラができ、ヒートショック(※)の危険性が出てきます。
また、睡眠の質と温度の関係が健康に大きく関わるとして、大学や企業が研究を重ねていますが、夏季の暑さによる寝不足も深刻な問題になっているようです。

※家の中の急激な温度差が血圧の急な変動を招き、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こす要因になること。

省エネ住宅でムリなく、ムダなく

地球温暖化ガスの排出量を削減する為に、住宅分野でも省エネ化はとても重要です。
かと言って、省エネのための努力で健康を害してしまう事は避けなければなりません。
そのためにも住宅業界では2020年までに全ての新築住宅をゼロエネルギーハウス(ZEH)にする取組が進んでいます。
ゼロエネルギーハウスは、簡単に言うと自分たちで使う電気などのエネルギーを創り(創エネ)・節約し(省エネ)・貯める(断熱)という住宅です。

創るエネルギーと使うエネルギーをほぼゼロにする為には、さまざまな設備を併用して賢く対応していくことが大事です。
ログハウスを選択される方の中にも、導入される人が増えてきていますね。

エネルギーを創る

太陽光パネルは太陽光を生活に欠かせない電気に変えてくれる、自然の力を利用した設備です。ここ数年でとても性能が上がり、発電力や耐久性が伸びながら、価格も少しずつこなれてきました。
また、エネファームといったガスで発電するものなど、各メーカーからいろいろな種類の発電器具が出てきています。

エネルギーを省く

せっかく創っても、どんどんエネルギーを使ってしまってはもったいないですよね。
エアコンの温度設定や照明の使用方法の無駄を省くのも大事です。最近の家電・設備機器はほとんどの物が省エネに特化していますから、この機会に見直してみると良いでしょう。

エネルギーを貯める

「蓄電池」という言葉を耳にする機会が増えた気がします。蓄電池を導入すると昼発電した電気を夜使ったり、電気代が安い夜のうちに充電して昼使うという賢い使い方が可能です。
また、そもそもの住宅自体の断熱性が低いと、冷暖房に多くのエネルギーを消費しますから、住宅全体に目を向けることが大事ですね。

省エネにはお金がかかる?

ここまでの話で出てきた設備ですが、やっぱり気になるのはコストの問題だと思います。
省エネ設備の導入で月々の光熱費はぐっと下がるとはいえ、どうしても導入には費用がかかります。これに関しては、設備や住宅に対する省エネ支援補助が国や県などが主体となって取り組んでおり、今後さらに増えていくことが予想されます。また、需要が増えれば価格も下がり、近い将来当たり前の設備になることが予想されます。

省エネと快適は両立できる

省エネ先進国のヨーロッパ諸国では、断熱性はもちろん省エネへの関心が高く、住宅から家電までを同じ等級でランク付けをして、一般消費者が一目でわかるようになっています。
また、システム上で住宅のエネルギーを管理して、最適に使うことが当たり前になりつつあります。
日本でも「HEMS」とよばれる一括管理システムの普及が進められており、個人で住宅を管理するのが一般的になる日が来るでしょう。
そんな時、今よりもさらに進化したログハウスを皆様にお届けできる様、技術の進歩に力を入れていきます。

完成物件・建設中物件のご紹介

Webサイトで物件の詳しい写真をご覧いただけます。
www.kinoie.co.jp/

完成物件
- M様邸　東京都福生市
- K様邸　長野県木曽郡
- K様邸　千葉県鴨川市
- I様邸　東京都日野市
- O様邸　東京都青梅市

建設中物件
- U様邸　東京都八王子市
- A様邸　長野県北安曇郡
- K様邸　東京都多摩市
- H様邸　神奈川県茅ケ崎市
- M様邸　神奈川県横浜市
- I様邸　神奈川県三浦郡
- S様邸　東京都西東京市
- 清里PJ　山梨県北杜市
- Y様邸　東京都西東京市
- 商業施設　新潟県新潟市
- S様邸　埼玉県比企郡
- K様邸　香川県高松市

東京都中野区　S様邸　Feel-J
片流れ屋根が特徴のFeel-J 2棟プランです。片方が賃貸、もう一方がオフィスを想定されており、木とメタルサイディングのコントラストがシャープな印象を与えてくれる格好良い木の家になりました。

東京都青梅市　O様邸　Feel-G
一見奇抜な青い外観ですが、生地仕上げの柱が程よくナチュラルさを表現しています。シンプルにまとめた間取りは使い勝手がよく、本当に必要なものとは何かを教えてくれるプランです。

香川県高松市　K様邸　Feel-G
人気の平屋タイプで建設中の当プラン。2LDKを前提に3世帯住居としてリフォームを想定した間取りを構成しています。長く住めるログハウスだからこそ、先の先まで見据えた住宅づくりが大事ですね。

埼玉県比企郡　S様邸　Feel-G
切妻屋根のログハウスは、伝統的かつ堅牢なイメージ。間取りも3LDKと一般的ながら、和室を設けることで日本人としての安らぎの空間が出来ました。和風×北欧のコラボレーションが素敵です。

賢く建てよう省エネ住宅

2月末までのご契約で

採択枠／10棟限定(先着順)

地域型住宅グリーン化事業採択のFeelなら、最大150万円の補助金が受けられます!

「地域型住宅グリーン化事業」とは、地域材を活用した長期優良住宅や低炭素住宅など環境にやさしいすまいに対して助成されるもので、毎年当社の実績を評価・認定して頂き、国土交通省並びに林野庁から住宅への補助金を付与して頂いております。

1 長寿命型(長期優良住宅) 省エネ型(低炭素住宅)
補助金上限 100万円
必要な条件　長期優良住宅、低炭素住宅への仕様変更(ログ壁の厚さUP／断熱材の強化 etc)

2 地域材 加算
補助金上限 20万円
必要な条件　産地証明等がなされている木材(地域材)の使用

3 三世代同居 加算
補助金上限 30万円
必要な条件　キッチン・浴室・トイレ・玄関のうちいずれか2つを複数設置

補助金の活用で、ご負担なしで環境にも家族にもやさしい快適なすまいにグレードUPが可能です!

※地域や建物の規模、仕様によっては補助が受けられない場合もあります。※2017年2月までに契約を締結し、3月末までに申請する必要があります。
※採択棟数には限りがあります。先着順となりますので定数に達した場合はご容赦ください。※詳細はスタッフまでお気軽にご相談ください。